

目 次

I. 総括研究報告書

研究の総括

種村 健太郎 6

II. 分担研究報告書

1. 周産期における低用量ネオニコチノイド系農薬暴露による成熟後マウスの行動異常、
およびエストロゲン受容体遺伝子改変マウスを用いた行動異常値設定の試み

種村 健太郎 55

2. 行動柔軟性/抑制課題試験の開発と毒性評価への応用

掛山 正心 61

3. エストロゲン受容体遺伝子改変マウスの解析遺伝子発現解析と異常基準値の設定

北嶋 聡 104

4. 学習異常を伴う海馬神経新生異常を指標にした神経毒性評価

中島 欽一 145

5. 光計測による神経回路解析の神経毒性評価への応用

富永 貴志 145

6. 国内外情報収集、OECD 対応、新規毒性マーカー探索に関する研究

菅野 純 150

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 163

IV. 研究成果の刊行物・別刷 166